



山王小だより



令和6年9月30日
狭山市立山王小学校
学校だより NO.18

男子217名 女子195名 計412名

校長 市川 博康

1 ○○の秋。どんな秋を楽しみますか。

日によっては、まだ半袖の出番があるものの、今までの猛暑も影を潜め、秋が駆け足でやってきているようです。校外を問わず自然に恵まれた山王小では、その自然を活かした学習も取り入れています。

「学習の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」「芸術の秋」「食欲の秋」・・・秋は、過ごしやすく、勉強するのもスポーツをするにも最適な時季と言われている。また、「秋の夜長」と言われますように、この時季は、日照時間が短く、夜の時間が長くなることから、子供たちには「秋の夜長」に「○○の秋」を満喫してほしいと思っています。

朝晩の冷え込みも秋本番となったためか、体調を崩す児童も少なくないようです。保護者や地域の皆様におかれましても、お体には十分にお気をつけていただければと存じます。



1年生虫取り（生活科の学習）

2 児童朝会（9/18）掲示ワールド委員会と代表委員会の発表

掲示ワールド委員会5、6年生が、ユニセフについて発表を行いました。100円の寄付で5人分のワクチンが買えること等をクイズ形式で全校に広めていました。また、代表委員会では、「やさしさの木に葉をつけよう」の目的や注意事項等を実際の木となる用紙を見せながら上手に説明していました。



3 修学旅行【(9/25(水)26(木))★主な見学地：奥日光湯元温泉、中禅寺湖、華嚴の滝、日光東照宮、日光江戸村

「通学班の子たちにお土産を買ってこようかな」山王小からバス乗り場（ローソン駐車場）への道のりで、私に話してくれました。なんて素敵な6年生だろうなと思いつつ修学旅行がスタートしました。修学旅行の目的は、「集団で生活することにより、きまりやルールを守ることができるようにする」「自然や文化に親しむ」（文科省）とありますが、私たち教師の思いは、まず第一に「子供たちが二日間楽しく過ごしてほしい。」そのためには、自分のことだけでなく、バス席の隣の人、同じ部屋の人、同じグループの人に少し気を遣って過ごすことで、みんなが楽しい旅行となると考え、指導しています。

さて、修学旅行当日ですが、真っ赤になりながら浸かった足湯。鹿を見ては「鹿だ、鹿だ」と大興奮。遊覧船では、屋上デッキで爽やかな風を浴びながら友達との会話を楽しんでいました。また、買う人を思い浮かべ、目をキラキラさせながらお土産を購入していました。部屋の消灯後は、「ないしょ話」をしていたようです。バスの車窓からは、猿の親子に大興奮したり、日光東照宮では、ゲストの方のとても専門的なお話に（日頃の授業よりも）とても集中していたりしていました。日光江戸村では、お団子やアイスを二人分食べている人もいました。

一泊二日と短い時間でしたが、学校以外の場所で過ごすことで、自分や友達の「よい所」や「意外な人間性」が分かり、一日目には素っ気なかった間柄が二日目には、親交が深まった様子が見られました。この修学旅行を通して、少しでも自分や友達の「意外な部分」を分かり合い、自分のことや友達のことを考え、人間関係が深まることのできたのなら、とても意義のある修学旅行となったのではないのでしょうか。



一日目(足湯:日光湯本温泉)



一日目(源泉:奥日光湯本温泉)



一日目(中禅寺湖:遊覧船)



一日目(お土産購入)



二日目(日光東照宮:陽明門前)



二日目(日光江戸村)

※他にも、たくさんの出来事があります。「親の時代の修学旅行と今の修学旅行」を比較しながら親子で会話していただくと、時代の変化を感じられると思います。